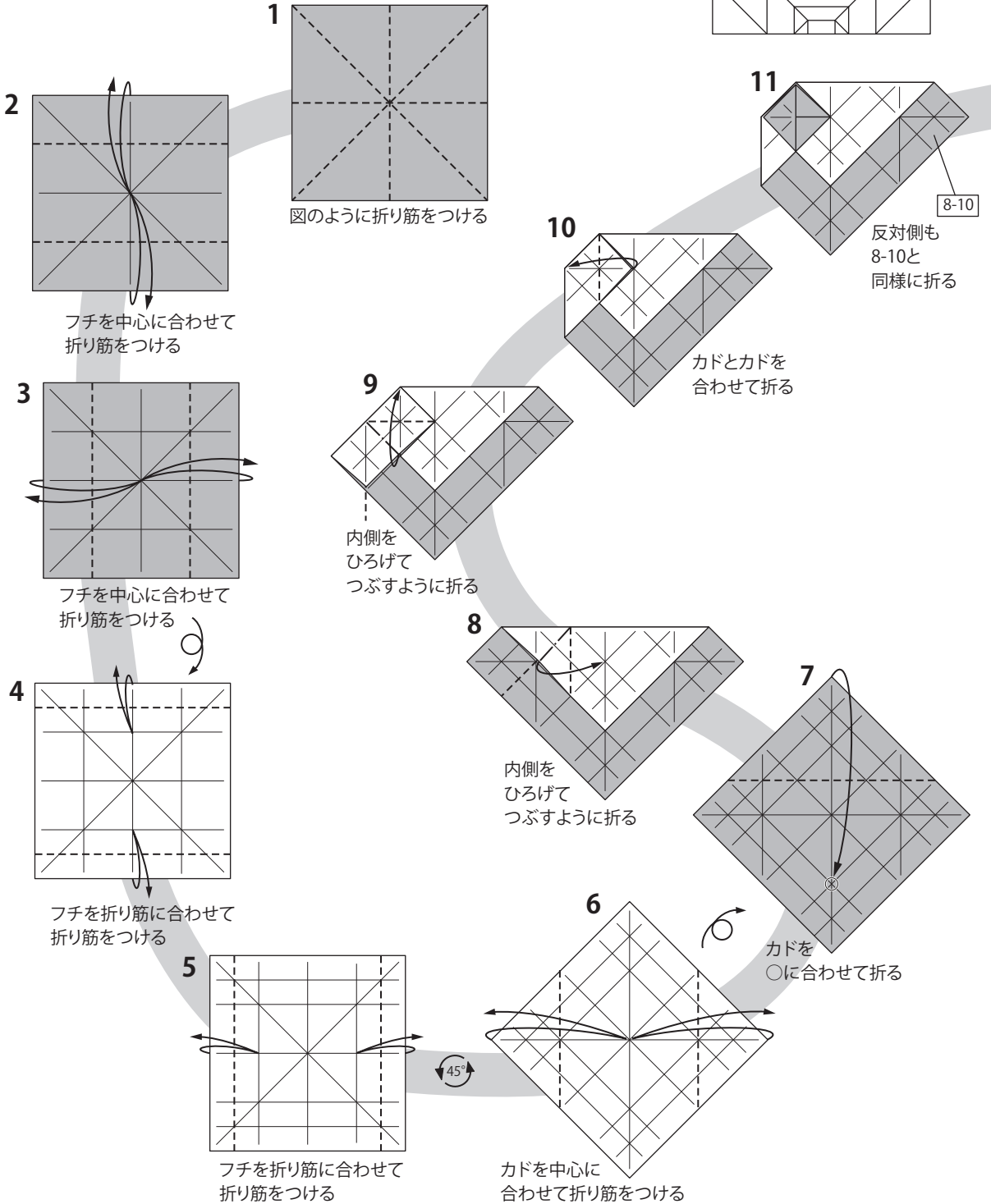
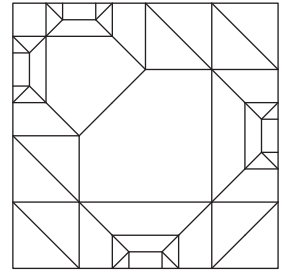
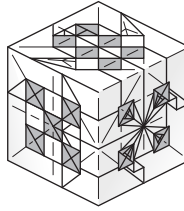
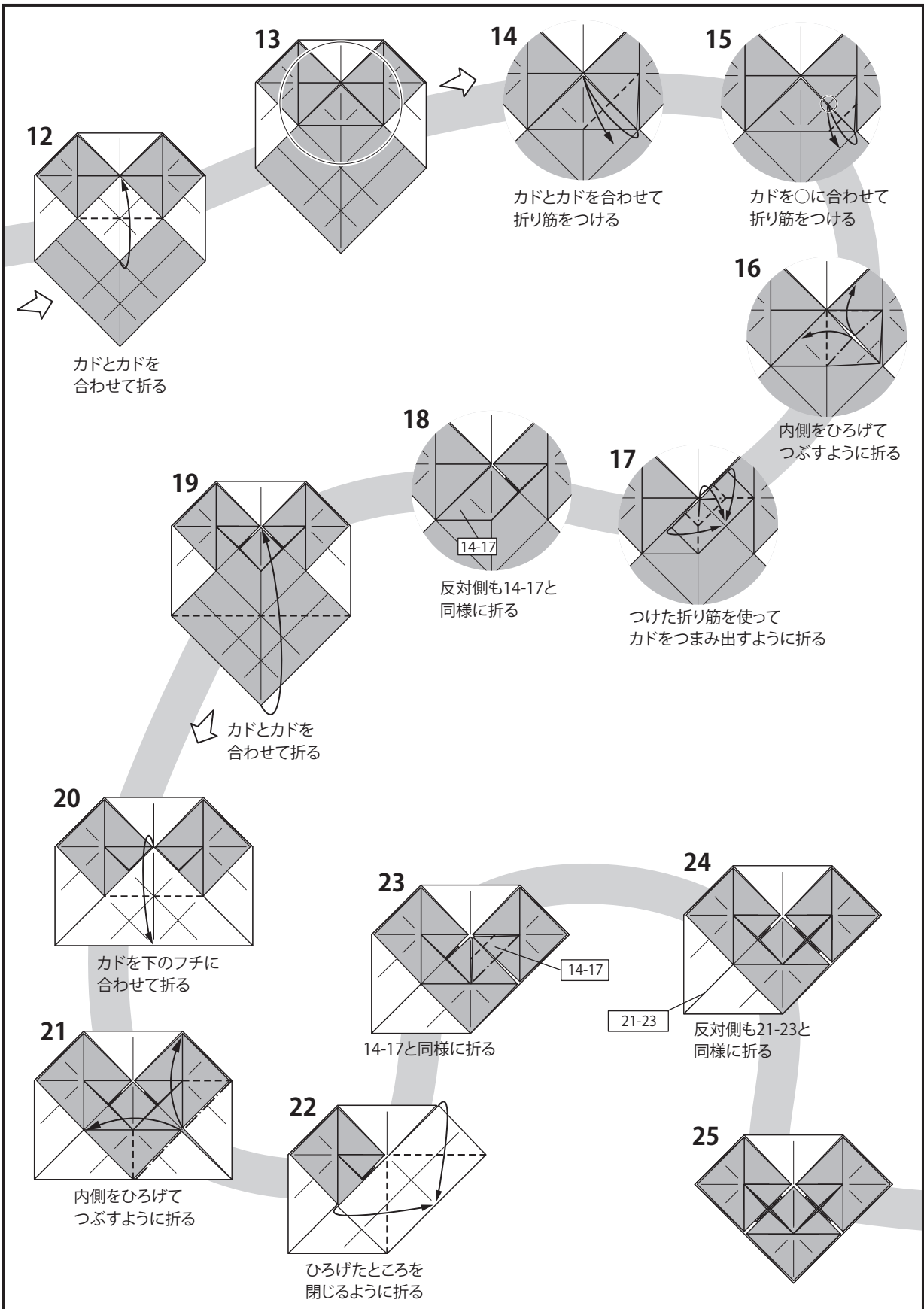


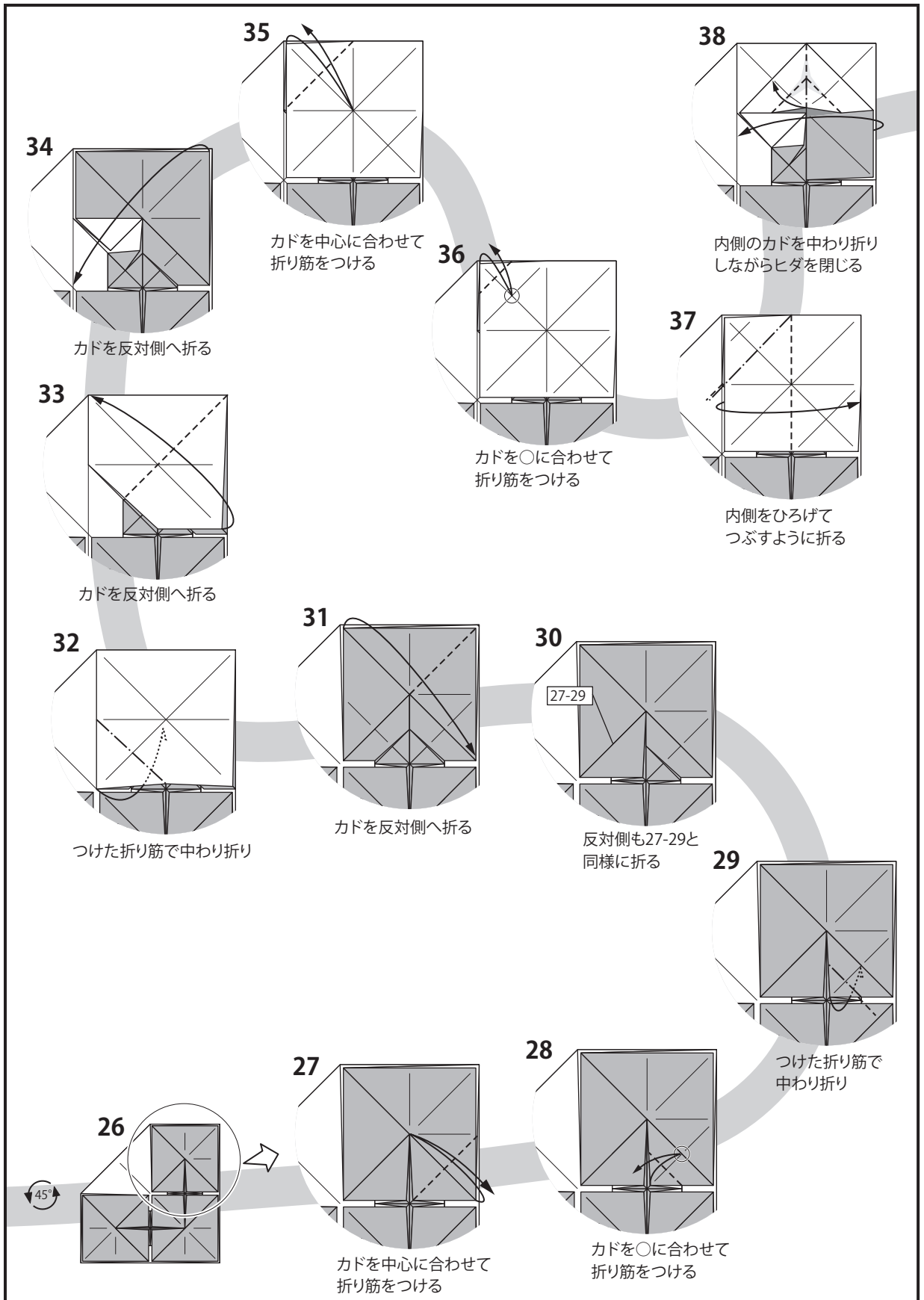
しごろさい  
**四五六賽**  
 Cheat dice

中村 楓  
 Nakamura Kaede  
 2023/04

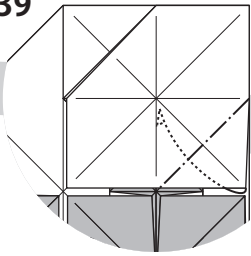
15cm以上の紙で折りましょう。  
 ホイル紙を使うか、普通の紙を使うにしても最後に軽く糊付けしたほうがいいです。





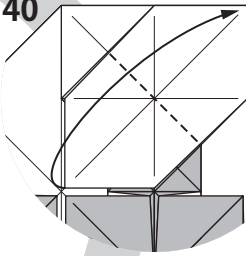


39



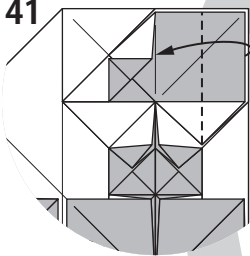
ついている折り筋で  
中わり折り

40



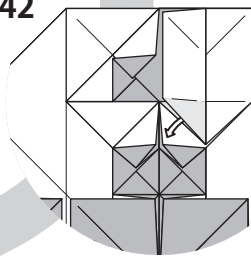
カドとカドを合わせて折る

41



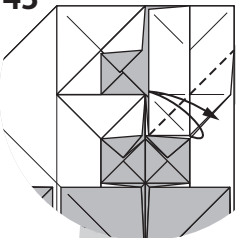
ヒダを中心に合わせて折る

42



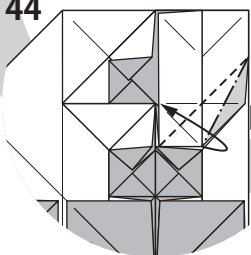
内側のヒダを引っぱり出す

43



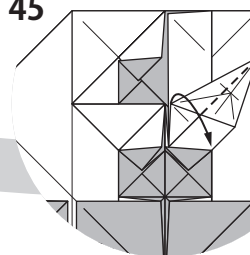
ヒダを中心に合わせて  
まとめて折り筋をつける

44



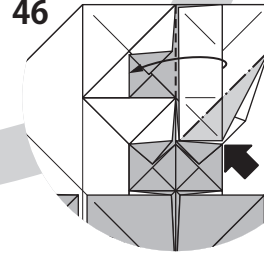
つられてくるところを  
つぶしながら折る

45



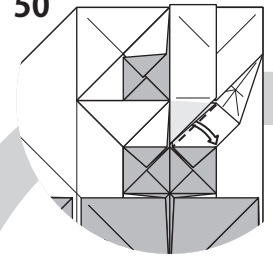
カドを反対側へ折る

46



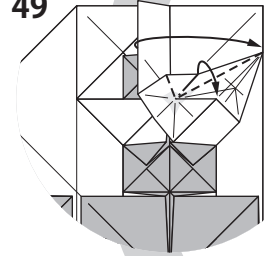
カドを内側に押し込む  
(立体的になる)

50



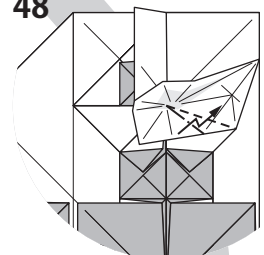
内側のヒダを  
引っぱり出す

49



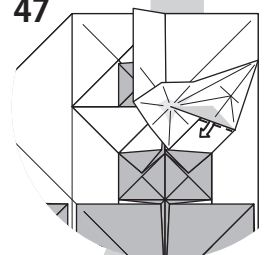
図のように折りたたみながら  
ヒダを閉じる

48



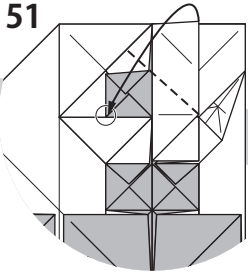
ついている折り筋で段折り

47



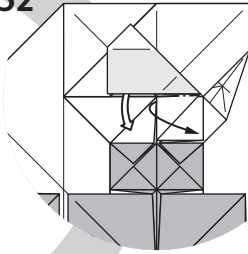
内側のヒダを引っぱり出す

51



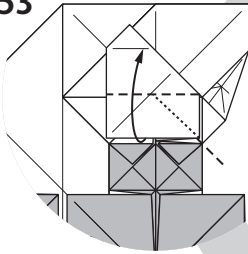
カドを○に合わせて折る

52



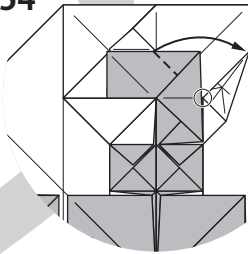
内側のヒダを引っ張り出す

53



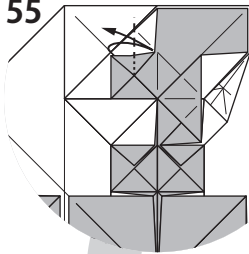
内側のヒダをひろげて  
つぶすように折る

54



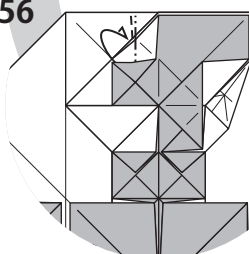
○を軸にヒダを引っ張り出す

55



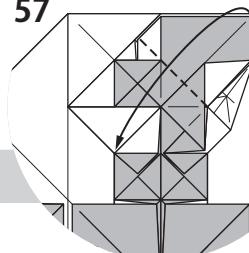
カドを折り筋に合わせて  
折り筋をつける

56



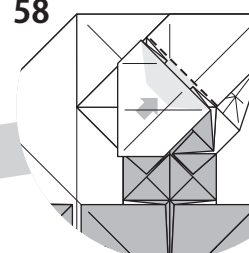
つけた折り筋で中わり折り

57



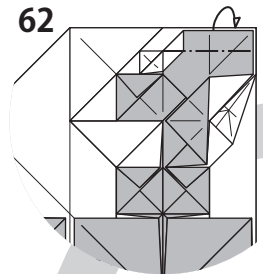
ついている折り筋で  
カドを反対側に折る

58



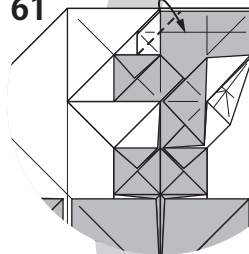
内側から押し出すように  
折る (Unsink)

62



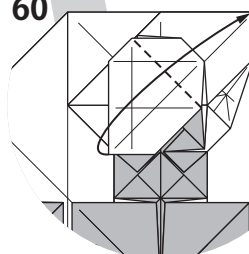
ついている折り筋で  
内側に折る

61



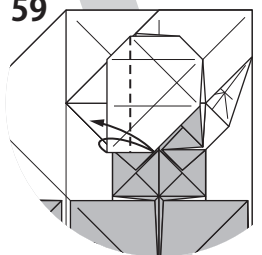
カドを折り筋に  
合わせて折る

60



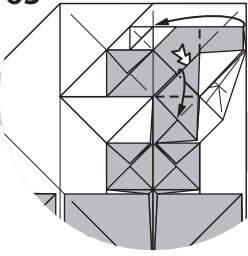
カドを反対側に折る

59



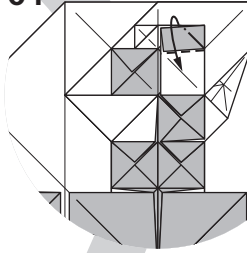
カドとカドを合わせて  
折り筋をつける

63



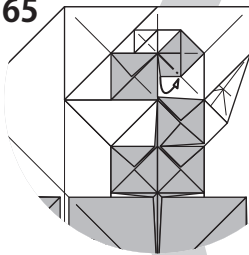
内側をひろげて  
ずらしながら  
つぶすように折る

64



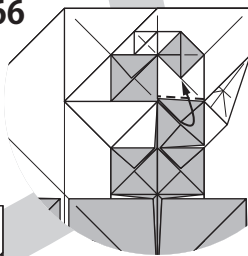
内側をひろげて  
つぶすように折る

65



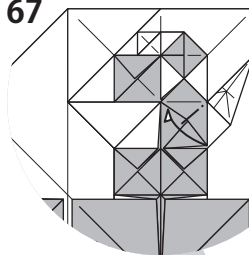
カドを内側に折り込む

66



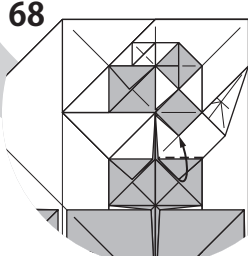
カドを上折る

67



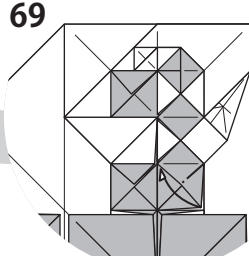
中わり折り

68



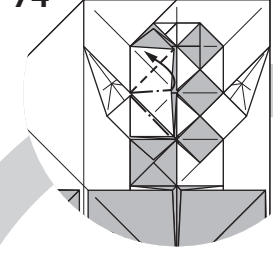
カドを上折る

69



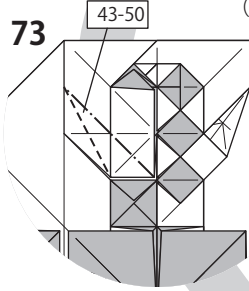
中わり折り

74



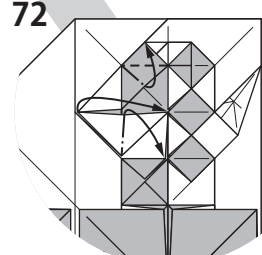
内側をひろげてずらす  
(立体的になる)

73



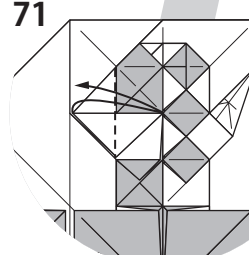
43-50と同様に折る

72



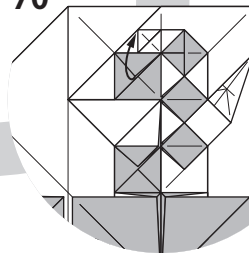
内側をひろげて  
つぶすように折る

71



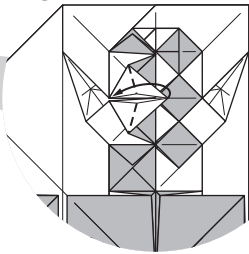
カドを中心に合わせて  
折り筋をつける

70



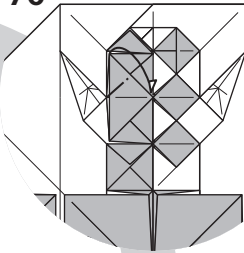
カドを上折る

75



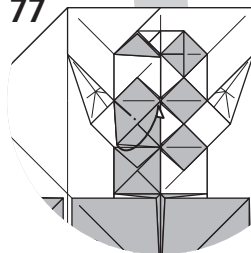
カドをつぶすように折る

76



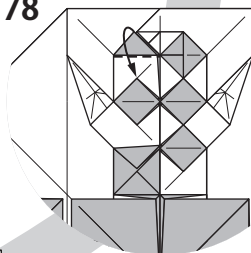
中わり折り

77



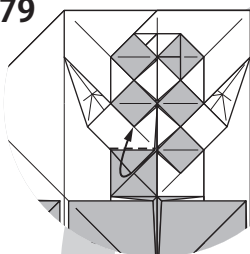
中わり折り

78



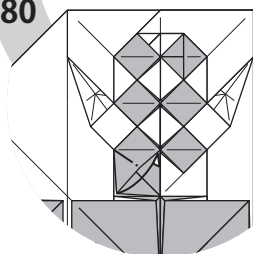
カドを下に折る

79



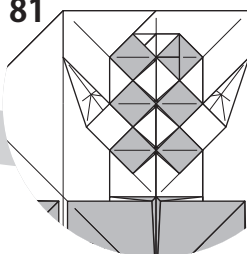
カドを上折る

80

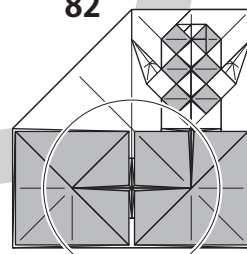


中わり折り

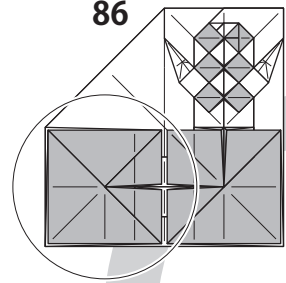
81



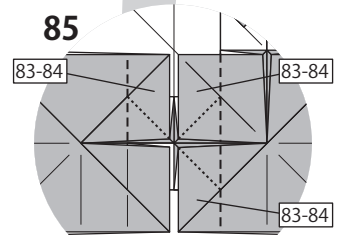
82



86

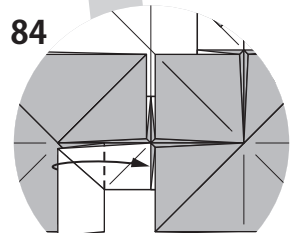


85



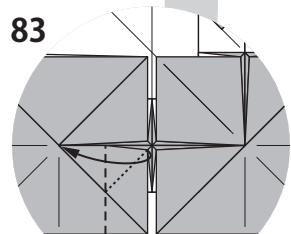
他の3か所も83-84と同様に折る

84



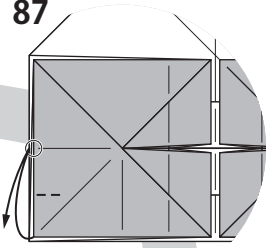
ヒダを反対側に折る

83



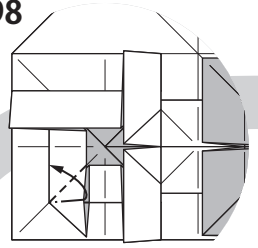
内側のヒダをひろげてつぶすように折る

87



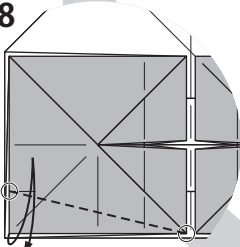
カドを○に合わせて  
フチの方に少しだけ  
折り筋をつける

98



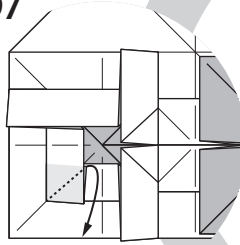
内側をひろげて  
つぶすように折る

88



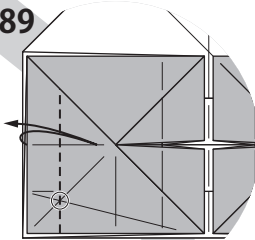
○と○を結ぶ線で  
折り筋をつける

97



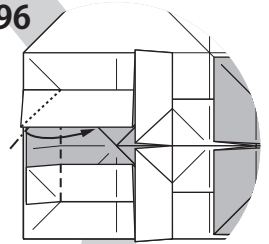
内側のカドを引っ張り出す

89



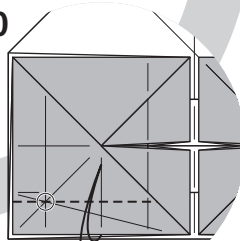
○を通る垂直な線で  
折り筋をつける

96



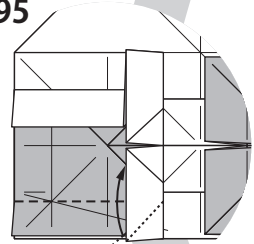
ヒダをずらすように折る

90



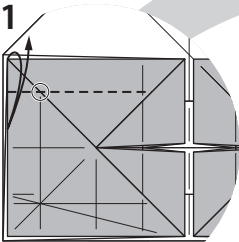
○を通る水平な線で  
折り筋をつける

95



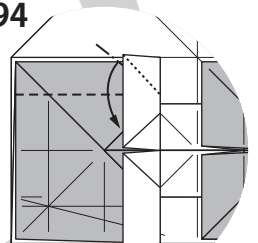
ヒダをずらすように折る  
(以下87-88でつけた折り筋は  
便宜上省略する)

91



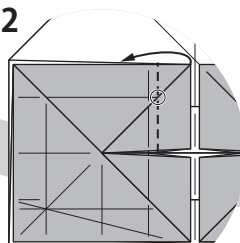
○を通る水平な線で  
折り筋をつける

94



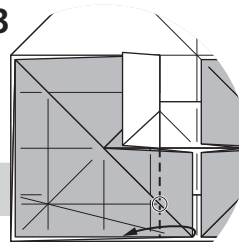
ヒダをずらすように折る

92



○を通る垂直な線で折る

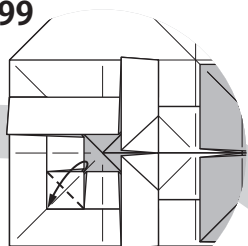
93



○を通る垂直な線で折る

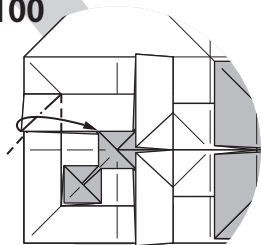


99



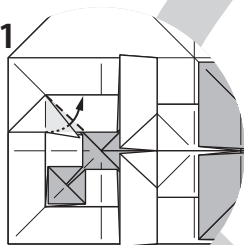
カドとカドを  
合わせて折る

100



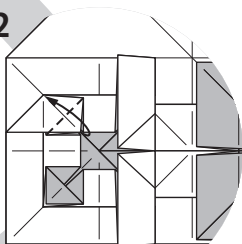
内側をひろげて  
つぶすように折る

101



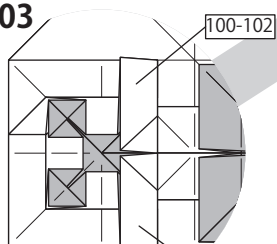
内側のヒダを引っぱり出す

102



カドとカドを合わせて折る

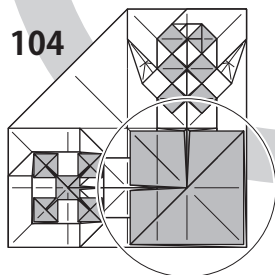
103



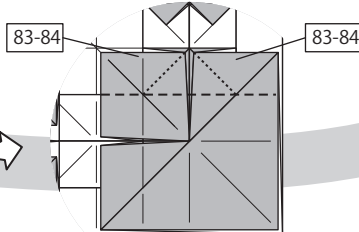
他の2か所も100-102と  
同様に折る

100-102

104

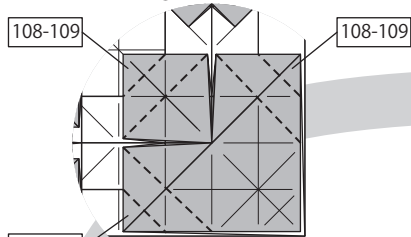


105



83-84と同様に折る

110



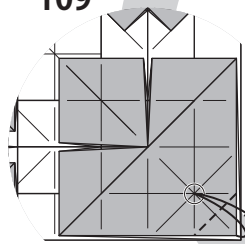
他の3か所も108-109と  
同様に折り筋をつける

108-109

108-109

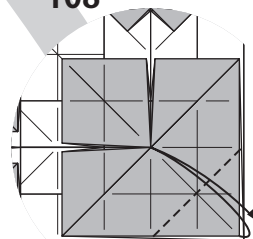
108-109

109



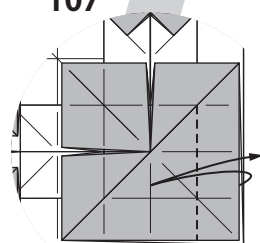
カドを○に合わせて  
折り筋をつける

108



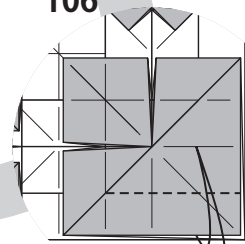
カドを中心に合わせて  
折り筋をつける

107



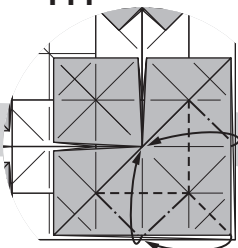
フチを折り筋に合わせて  
折り筋をつける

106



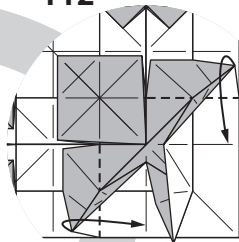
フチを折り筋に合わせて  
折り筋をつける

111



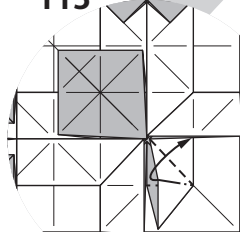
カドをつまむように折る  
(立体的になる)

112



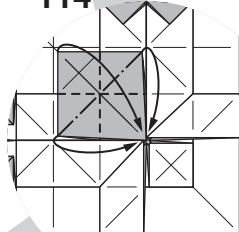
つられてくるヒダを折る

113



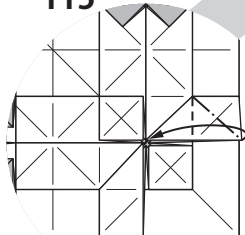
内側をひろげて  
つぶすように折る

114



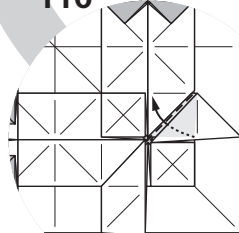
正方基本形を  
作るように折る

115



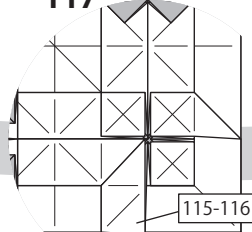
内側をひろげて  
つぶすように折る

116



内側のヒダを引っ張り出す

117



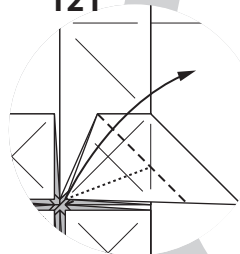
115-116と同様に折る

122



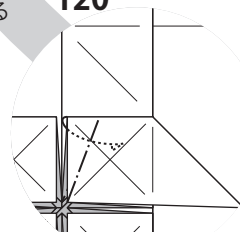
ついている折り筋で  
もう一度折り筋をつける

121



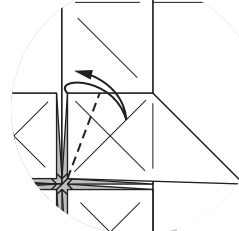
内側をひろげて  
つぶすように折る

120



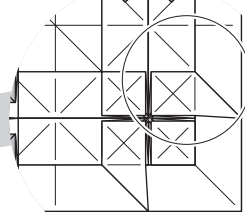
中わり折り

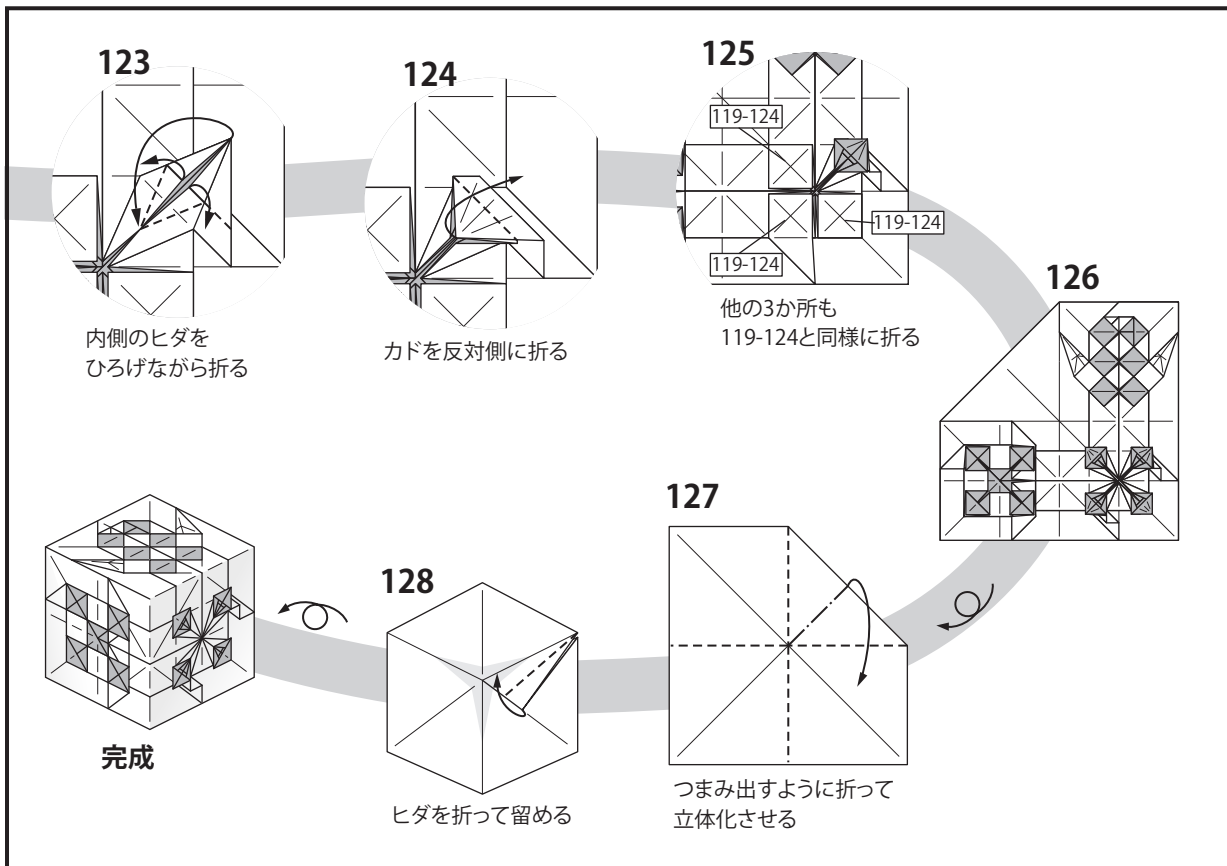
119



カドを折り筋に合わせて  
折り筋をつける

118





Orisuzi ("Fold-Creases")

## 原点回帰のユニット折り紙

Go Back to the Basics: Modular Origami

長山海澄

Nagayama Kaito

8月に都内の小さなカフェギャラリーで個展を開催した。コンペションの前・当日も開場したこともあり(カフェのオーナーに無理を言って盆休みをずらしていただいた)、全国から沢山の折紙愛好家の皆さまにお越しいただけたことは僥倖だった。改めて感謝したい。

個展では「星」をモチーフにしたユニット折り紙にテーマを絞り、未発表作5作品を含む約20作品を展示した。

多くの方に「長山はカメレオンのイメージが強く、ユニットの展示は意外だった」と言われたが、実は私にとってユニットは原点回帰である。現代折紙に出会うきっかけがユニット折り紙だった私は、一枚折り

を主軸にしながらも細々とユニット創作を続けてきた。近年になってその立場は逆転し、今ではすっかり趣味が一枚折りのユニット作家である。というのも、これまではずっと「ユニット折り紙のアイデアはほとんど折り尽くされている」と考えていたのだが、全くそんなことはなかったのだ。多くの足跡が残る雪道で足元ばかりを見つめながらわずかに残った雪片を踏みつけ歩いてきた私は、ふと顔を上げると眼前に未踏の雪原が広がっていることに気づいた。新雪に飛び込み駆け回る犬の如し。私のX(旧ツイッター)をご覧の方はご存知かもしれないが、ここ百数十日ほど私は毎日ユニット作品を創作し、その展開図を投稿している。毎日1作品折っているほどの時間は無

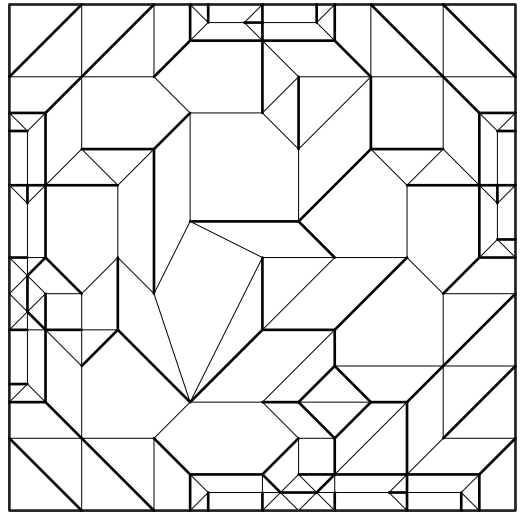
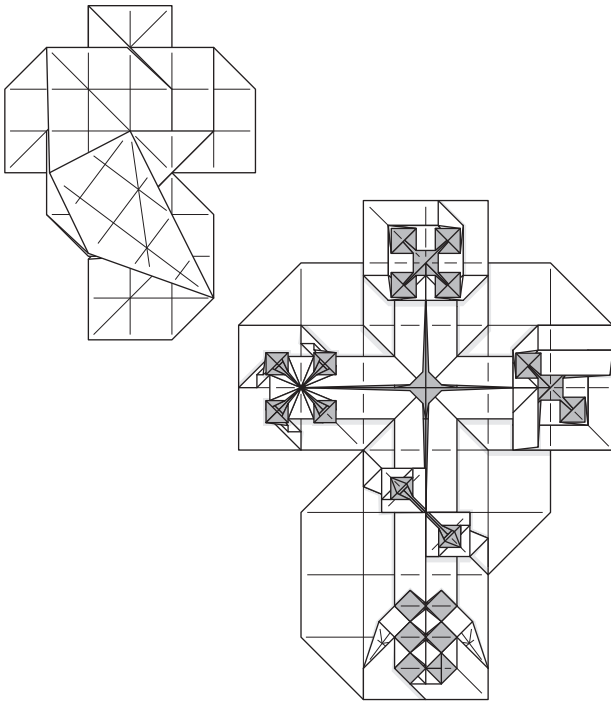
いので展開図ばかりで、完成形が見たい皆様には申し訳ないと思っている。しかし今の私にとっては、ふかふかの雪原を転がり続けるほうが道を踏み固めながら歩くよりも楽しくて仕方がないのだ。

最近の目標は今まで培ってきたユニット創作の「基礎」を一冊の著にまとめることである。未踏の雪原の一步手前までは、私よりもむしろ偉大な先人たちが積み上げてきた礎だ。それをこの辺りで一旦整理しておくことは意義深いことだと信じている。

私が今転がっている場所の景色については、またいつか、10年20年先に一步步踏み締めながら歩く心の落ち着きが生まれてから整理することにしよう。

■おまけ■

サイコロ完全版 展開図&立体化前



# 折り紙千夜一夜

One Thousand and One Nights of Origami

第3夜

## 学問のなかでの最たる美女

La plus belle des sciences

宣伝めくが、さきごろ出版された『数学にはこんなマーベラスな役立て方や楽しみ方があるという話をあの人やこの人にディープに聞いてみた本』(日本評論社、2023.09)という長い題名の本に、インタビュー記事が、また、『数学者の選ぶ「とっておきの数学」』(日本評論社、2023.08)という本に、わたしのエッセイが収録された。いずれも雑誌『数学セミナー』の記事をもとにした単行本である。

後者の本の題名の「数学者の選ぶ」だが、わたしは数学者ではないので、「本当によいのですか」と何度か編集者に確認をした。そのエッセイでは、正八面体をとりあげ、5種の正多面体の中での正八面体の存在が「代表野球チームに選ばれた守

備固めの選手」「舞踏会に紛れ込んだ庶民の娘」のようだと書いたのだが、それはその本におけるわたし自身のことのようにも見える。

数学者の定義という問題でもあるが、自分が数学者であるとの自覚はまったくない。ただ、以前のこのコラム欄のタイトルをすべて「22.5度」「0.1mm」というように数字を含むものにした、前々回からコラムを担当することになった際も、第1回と第2回のタイトルを数字を含むようにしたように、わたしは数字や図形というものが好きな数学ファンである。これは間違いない。

フランスの文学者ポール・ヴァレリーは「私は数学の専門家ではなく一人の崇拜者にすぎない。学問のなかで

の最たるこの美女にほれこんだ失意の男だ。」(『数学名言集』H.A.ヴィルチェンコ著、松野武他訳、大竹出版、1995)という言葉を残した。その心境はわからないでもない。しかし、数学の才能というのは、インドの天才数学者ラマヌジャンや、100年間証明できなかった「ポアンカレ予想」を証明したロシアの天才ペレルマンのエピソードなどを知ると、天からのギフトではあるものの、一種の呪いなのではないかと思うこともある。好きを通り越してそれに憑かれた状態である。わたしと数学、そして折り紙との関係は、単純に好きというもので、それは幸いなことなのだろう。

前川 淳 Maekawa Jun  
日本折紙学会 評議員代表